



# 香川県から広がる国際化 ～「瀬戸内国際芸術祭 2019」がついに開幕～

(一財)自治体国際化協会 香川県支部長 谷口 英二

## 「瀬戸内国際芸術祭 2019」が開幕！

2019年4月26日、瀬戸内海の島々を舞台として「瀬戸内国際芸術祭 2019」が開幕しました。3年ごとに開催されるこの芸術祭は今回で4回目の開催となり、国内外から多くのアーティストが参加しています。世界から注目されている一大イベントということで、多くの来場者で賑わい、本県の魅力を知っていただく大きなきっかけとなっています。

また、本県と交流のある中国陝西省や台湾桃園市、韓国浦項市、海外の香川県人会の方々も来県され、芸術祭のオープニングツアーや開会式に参加していただくなど、国際交流を発展させる場としても非常に重要なイベントです。



フェリーから降りてくる来場者の様子 (Photo Shintaro Miyawaki)

## 芸術祭の魅力

「瀬戸内国際芸術祭 2019」は、瀬戸内海の12の島々と高松港周辺および宇野港周辺が会場であり、いわば屋根の無い美術館となっています。作品を見て回るには船で移動することとなりますが、船外を見渡せば、果てしなく広がる青く美しい瀬戸内海とそこに浮かぶ島々が織りなす多島美を堪能でき、作品にたどり着くまでの期待感を大いに高めてくれます。さらに、芸術祭の作品には会場となっている島ごとの個性が反映されています。船

を下りる度に感じられる新鮮さ、驚き、そして発見。こういった体験ができるのは、瀬戸内海の島々を舞台とした芸術祭ならではの魅力です。



瀬戸内海とそこに浮かぶ島々 (Photo Osamu Nakamura)

また、作品数・イベント数の多さもこの芸術祭の魅力の一つです。芸術祭には32の国と地域から226組のアーティストが参加し、作品数は214点、イベント数は35になっています。自分たちだけで作品を見て回るのには不安だという方もいらっしゃるかと思いますが、ご安心ください。「こえび隊」が作品巡りをサポートする「こえびガイド」(有料)があります。「こえび隊」とは、「瀬戸内国際芸術祭」を支えるボランティアサポーターで、作品制作の手伝いをはじめ、芸術祭のPR活動や芸術祭期間中の運営、各島でのイベントの手伝いなどを行っています。船の乗り方から島内の移動方法、おすすめのスポットやアート作品の見どころまで、スムーズに島旅を楽しめるようトータルコーディネートしてくれますので、安心して芸術祭をお楽しみください。



「こえび隊」によるガイドの様子

## 芸術祭を通じた国際交流

「瀬戸内国際芸術祭 2019」には国内外から多くの方々  
が来場しており、地元住民にとっては、新たな交流を始  
めるきっかけとなっています。来場される皆様に本県に  
対する愛着を持っていただくことは芸術祭の役割の一つ  
でもあり、これから本県の魅力を国内外に発信する機会  
が増えていくことが期待されます。

また、芸術祭の開幕（春会期）に際し、海外からの来  
場者を対象としたオープニングツアーも実施されまし  
た。ツアーには、本県と交流のある中国陝西省、台湾桃  
園市、韓国浦項市の方々も参加し、作品の展示会場であ  
る直島や犬島において芸術祭を堪能されました。

交流先の国・地域のイベントに参加することは、その  
国・地域の文化や伝統を知る手段として非常に有効です。  
例えば、台湾桃園市には、2年に一度開催される「桃園  
地景芸術節」があり、本県からも参加しています。この  
イベントは、現地の文化、自然、風景等を生かし、地元  
住民が芸術家と一緒に作品を制作するもので、「瀬戸内  
国際芸術祭」に相通ずるものがあります。イベントを通  
じた交流は、お互いの類似点と相違点を知るきっかけと  
なり、相互理解の一助となっています。



作家の説明を受けながら作品を鑑賞する桃園市政府の方々

## これからの芸術祭

「瀬戸内国際芸術祭 2019」は3会期設けられており、  
春会期（4月26日から5月26日）、夏会期（7月19  
日から8月25日）、秋会期（9月28日から11月4日）  
となっています。季節ごとに風景が変化し、作品の見え  
方が変化してくることも芸術祭の醍醐味で、本県の魅力  
を飽くことなく楽しめます。

秋会期には、本県と交流のあるベトナム・ハイフォン  
市から、伝統芸能「カーチュー」のパフォーマーを招致  
し、オープニングイベントで公演を行う予定です。

本県とベトナム・ハイフォン市は、15年前に交流を  
開始し、以降訪問団の相互往来などにより交流を行って  
います。また、JICA 草の根技術協力事業を活用して、  
これまでに行政改革、感染症対策および生活習慣病対策  
の3分野で、専門家派遣や研修生の受け入れを行ってきま  
した。このように、本県とハイフォン市では、着実に友  
好交流の絆を深めているところです。

招致予定の「カーチュー」は、ベトナムで1000年  
にわたって受け継がれてきた伝統芸能で、2009年に  
緊急保護を要するユネスコ世界無形文化遺産として認定  
されました。3人のパフォーマー（歌手と2人の演奏者）  
が、伝統楽器の節に合わせて、詩と曲を情感豊かに演奏  
します。



ベトナム伝統芸能「カーチュー」の演奏風景

今回の「瀬戸内国際芸術祭 2019」は、アジアの各地  
域と瀬戸内の島々が連携し、プロジェクトを展開する  
こととしており、この機会に本県とハイフォン市の交流  
について、またベトナムの伝統芸能について、県民をは  
じめ、来場者の方々に知っていただけたらと思っています。  
招致にあたっては、自治体国際化協会の助成金を活用し、  
本県とハイフォン市の交流活性化につなげていく  
こととしています。

「瀬戸内国際芸術祭」は今後も続いていくわけですが、  
本県と海外をつなぐ懸け橋として大きな可能性を秘めて  
いる一大イベントです。芸術祭をきっかけに本県の国際  
化が推進され、交流の輪が広がっていくことを大いに  
期待しています。また、皆さんも「瀬戸内国際芸術祭  
2019」にぜひご来場ください。アート作品に加えて、  
本県の自然・文化・食を堪能していただくとともに、そ  
こで生まれる交流の輪に飛び込んでみてください。美し  
い瀬戸内海とそこに浮かぶ島々を舞台に、多くの出会い、  
そして新たな発見が皆さんを待っています。